

○福岡県大牟田市

＜ユネスコスクール・ESDのまち大牟田＞

大牟田市教育委員会教育長 安田昌則



福岡県の最南端

人口115,434人
(平成30年11月1日現在)

○西は有明海、遠くに雲仙
東は遠くに阿蘇外輪山

※かつては「炭の都」(平成9年閉山)

昭和30年代20万人

○平成27年に炭鉱関連資産
「世界文化遺産」に登録

三池炭鉱関連 世界文化遺産 (2015年7月登録)

「明治日本の産業革命遺産」

明治日本の産業革命遺産

「三池港」(稼働資産)

「宮原坑」

「三池炭鉱専用鉄道敷」



三池港



宮原坑



三池炭鉱専用鉄道敷

大牟田市の目指すまちづくりと ユネスコスクールの理念が一致
ユネスコスクールの申請 → パリのユネスコ本部にて審査
(全校一斉に申請)

承認

大牟田市の全小・中・特別支援学校が
ユネスコスクールに一斉に加盟(H24年、3月)

※市内の全公立の学校が
ユネスコスクールに一斉に
加盟したことは、当時は世界
でもめずらしい



ユネスコスクールのまち おおむた

市をあげてESDを推進

【大牟田市役所】

大牟田市ESD推進本部の設置

市長→本部長

教育長→副本部長

各部の部長→推進委員

※各部署でESDの視点で事業を推進

持続可能なまちづくり

**ユネスコスクール支援センターの活用と充実
(全国で初めての設置)**

- ユネスコスクール支援センター事務局員の配置
- ESD関連の資料、書籍等の収集と提供
- 学校のESD活動の支援、学校間交流の支援 など



「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」宣言



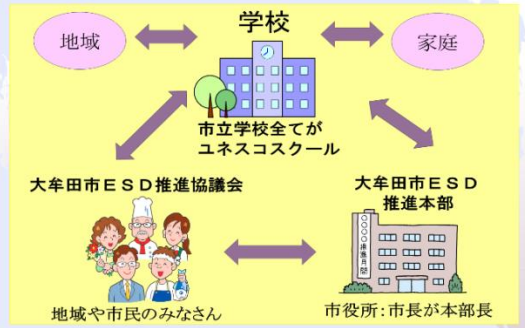
市長・議長・経済界
・福祉団体・教育委
員会・地域代表等
による宣言



記念式典・子どもサミット

子どもたちによるESDの発表

大牟田市がすすめているESD



大牟田市学校教育振興プラン

【基本理念】「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方にたち、本市の学校教育は、持続可能な社会づくりを担う子どもたちの育成を目標とします。

【基本方針】

社会を生き抜く力を身に付けた「おおむたっ子」の育成
<目指す児童生徒の姿>「おおむたっ子」

- おお → 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒
- む → 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒
- た → たくましい心と体を備えた児童生徒

[特色ある教育]

[知・徳・体のバランスのとれた教育]

各学校で特色あるESDの推進



ユネスコスクール子どもサミット



1月17日

大牟田版SDGs

【People, Prosperity, Planet, Peace, Partnership】



大牟田市のESDの推進を通して

